

ごしょがわらし 五所川原市

津軽半島の中心に位置し、夏の五所川原立佞武多が代表的です。強情ばりが多いこの地で津軽の人情やおもてなしを感じることが出来ます。

1 立佞武多の館

■五所川原市大町21-1 ■0173-38-3232 ■定休日:無し
■展示室9:00~19:00(4月~9月) ■9:00~17:00(10月~3月)



展示室には夏出陣する立佞武多(高さ22m~23m)が展示されているほか、3階の製作所では紙貼り体験(無料)や色付け(無料)も出来ます。有料で、うちわや金魚ねぶた製作も行えます。また、最上階にはレストランもあり、五所川原を一望しながら津軽の郷土料理も味わえます。五所川原市のみならず、青森県のお土産を置いているのも嬉しいです。

■入館料:大人600円・高大生450円・小中学生250円
■アクセス:五所川原駅より徒歩5分

2 マルコーセンター

■五所川原市大町20-1 ■0173-34-2264 ■8:00~18:00
■定休日:元旦のみ休業(但し、日曜日は鮮魚1店舗、すじこ・たらこ1店舗、青果・日配1店舗の合計4店舗のみの営業)

鮮魚や青果から野菜類まで揃う五所川原市民の市場。元気な声が飛び交う活気あふれる津軽の台所。津軽の人情に触れられる場です。

■アクセス:
五所川原駅より徒歩5分



市場中食堂 ■マルコーセンター内 ■11:00~15:00
■定休日:年中無休 ■0173-26-6255

マルコーセンター内にある「やっぴまれセット(250円)」を注文し、各店舗で自分好みのネタ(有料)を盛り、自分特製の海鮮丼を作れます。

※ネタは有料です。また、ネタによって価格は変動いたします。



3 平山家住宅

■五所川原市湊字千鳥144-1 ■0173-34-8870
■0173-35-2111(五所川原市教育委員会・社会教育課)

昭和53年に国重要文化財に指定された五所川原市の代表的な文化財です。館内を説明してくれる音声が標準語と津軽弁の2通りあります。聞き比べてみましょう。

■見学期間:4月1日~11月30日 見学科/無料
■見学時間:9:00~16:00 ■定休日:月曜、祝日の翌日
■アクセス:五所川原駅より自転車で15分、車で5分



うまいもの紹介

ごしょ山宝汁(ごしょさんぼうじゆ)
■五所川原市特産で長芋よりも粘りが強く栄養価が高い「つくね芋」を使った名物料理で野菜等、具だくさんの汁物です。



津軽飯詰駅周辺の見所

- 長円寺
長円寺にある梵鐘は、京都三条釜座の名工・近藤丹波藤久の正徳6年(1716) 鑄造の名鐘とされています。
■五所川原市飯詰字福泉224 ■0173-37-2658
■アクセス:津軽鉄道津軽飯詰駅より徒歩10分
- 天池(あまいけ)
天池の中には動くといわれる「浮島」があります。昔から日照りの時は、天池の神社で雨乞いをすると必ず雨が降ると言われています。
■五所川原市飯詰ダム付近
■アクセス:津軽鉄道津軽飯詰駅より車で10分
- グリーンバイオ村
畜産資料展示館、農業センター、野鳥の森といった様々な施設を持ち、農業体験の場として活用されています。また、風光明媚な展望が自慢のグリーンバイオ村には、コテージもあり宿泊もできます。
■五所川原市毘沙門字上熊石1-160 ■0173-37-3088
■アクセス:津軽鉄道毘沙門駅より徒歩15分



4 菊ヶ丘水郷公園

■五所川原市栄町地内
■お問い合わせ/0173-34-9555(五所川原市公園管理課)

春には桜が咲き並び、地元の隠れた名所として花見が行われます。7月には花菖蒲まつりが開催され、色鮮やかな公園です。散策や休憩場所としてもご利用いただけます。

■アクセス:五所川原駅より自転車で約15分、車で約5分



5 津軽金山焼

■五所川原市大字金山字千代鶴5-79 ■0173-29-3350
■9:00~17:00 ■定休日:年中無休

郷土の土を使用した焼き物。使えば使うほど、色味が増して自分だけの器になります。特に、ジョッキやカップはきめ細かい泡が立ち、風味が増します。電動ロクロ・手ロクロ・手捻り体験や津軽金山焼の窯で作るピザ作り(1,000円)も人気です。

■アクセス:五所川原駅より車で10分



- 津軽五所川原
- 十川
- 五農校前
- 津軽飯詰
- 毘沙門
- 嘉瀬
- 金木
- 芦野公園
- 川倉
- 大沢内
- 深郷田
- 津軽中里